

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【公開番号】特開 2018-110333 (P2018-110333A)

【公開日】平成 30 年 7 月 12 日 (2018.7.12)

【年通号数】公開・登録公報 2018-026

【出願番号】特願 2017-390 (P2017-390)

【国際特許分類】

H 0 4 R 3/00 (2006.01)

H 0 4 R 1/04 (2006.01)

H 0 4 R 1/00 (2006.01)

H 0 4 R 1/02 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 3/00 3 2 0

H 0 4 R 1/04 Z

H 0 4 R 1/00 3 2 8 A

H 0 4 R 1/02 1 0 6

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 28 日 (2019.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

ここで、マイクアンプユニット 11 は、L E D を有するマイクロホンか L E D を有さないマイクロホンを、1 番ピン 61 の電位により検知する検知手段を有する。具体的には、マイクアンプユニット 11 は、1 番ピン 61 が正電位を有するとき、L E D を有するマイクロホンが接続されていることを検知する。また、マイクアンプユニット 11 は、1 番ピン 61 がグランド電位であるとき、L E D を有さないマイクロホンが接続されていることを検知するよう構成されている。マイクアンプユニット 11 は、L E D を有するマイクロホンが接続されていることを検知したときに、スイッチ 30 を開閉して L E D の明滅を制御する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

前記スイッチング素子は F E T であり、前記特定の端子は前記 F E T のゲート端子に接続されている、請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のマイクロホン。